

建築設計科

建築一般構造 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	長島茂			実務 経験	有	職種	建設業にて設計・施工管理業務に従事				

授業概要

木材の特徴や性質、木造建築物の特徴や分類・構造・材料等を学ぶ。

到達目標

次の3点を到達目標とする。①木材の性質や特徴について習得する。②軸組構法について理解し、習得する。③枠組壁構法について理解し、習得する。

授業方法

教科書を中心に行うが、二級建築士の国家試験や、建築確認申請時に必要となる分野についても、補助プリント等を配布して行う。

成績評価方法

期末試験・出席状況・授業態度などを総合的に判断する。

履修上の注意

建築に関する専門用語が毎回多数出てくるが、出来るだけ授業中に覚えること。欠席や遅刻は、その部分の学習が抜けてしまうため、その後の学習に悪影響を及ぼす場合がある。

教科書教材

初めての建築一般構造(学芸出版社)、コンパクト建築設計資料集成(丸善)

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション建築構法の変遷について概略を学習する。
第2回	建築構造の分類・構造材料による分類・建築上の留意点について学習する。
第3回	木工造の特徴と構造形式について学習する。

第4回	木材・木質材料の特徴や性質について学習する。
第5回	軸組構法の構成と木材の接合について学習する。
第6回	木造建築物の基礎の構造、土工事について学習する。
第7回	壁・柱などの垂直部材の構造について学習する。
第8回	筋かい・胴差し・火打ちなど斜材・水平材について学習する。
第9回	小屋組の種類・特徴・構造について学習する。
第10回	束の有無による床構造について学習する。
第11回	地震力、風圧力に対する必要壁量の検討を演習として行う。
第12回	枠組壁構法の構成と特徴について学習する。
第13回	枠組壁構法で使用する木材の規格、接合について学習する。
第14回	枠組壁構法の壁量の検討を行う。
第15回	構造用大断面集成材を用いた構造の概要について学習する。